




【基本施策の目的】






経営資源の減少など、自治体経営を取り巻く環境が厳しさを増していく中、より多くの市民から信頼される市政運営を持続的に推進します。


【基本施策の今後の優先度】

中	基本施策の指標「信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合」は、平成28年度に、前年度から大きく改善していることや、今後も現状の取組みを質を高めながら進める予定であり、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、「中」と判断した。
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【指標の分析と今後の対応】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	今後の対応		
信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合	%	実績	55.8	50.9	45.3	71.7		H28年度の指標の改善は、市の行政改革の取組みをより市民にわかりやすく周知するために、意識調査の実施にあわせて、「広報こまき」で行政改革の取組み内容を紹介したことが一定程度寄与したものと考えられる。H26年度からH28年度まで、世代別では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っており、この傾向は今後も継続していくものと考えられる。	指標の変動に関する要因分析では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っている。この世代を中心とした幅広い世代に対して、本市の行政運営に関する取組みに対する理解をより深めるための情報発信を継続していくとともに、引き続き市民から市政運営に対する信頼が高まるように、堅実で効果的・効率的な市政運営を行っていく。	
		目指す方向性								
展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直しの内容	
1 情報の共有化を促進します	市民の意見を聴く機会が充実していると思う市民の割合	%	実績	46.5	42.1	38.7	61.0		各種広聴事業を継続実施する中、これまでの自由参加で各般にわたる質疑応答形式のタウンミーティングを、子育て世代や学校教育などのテーマを絞り、参加者も保育園や小学校からの代表者で、グループ討議・発表といった形式で開催することにより、参加者全体が同一テーマの下、活発に話し合うことができ、参加者の満足度が非常に高かった。また、当日の話し合い結果を市HP等で周知した。今後も同程度の割合を維持できる見込みである。	市政全般を取り上げるタウンミーティング(自由参加)は、これまで夜間に開催してきたが、今後は、平日、休日の昼間にも開催したり、市内各所の公共施設で開催したりすることで、市民の参加機会拡大を図り、意見を聴く機会を充実させたい。また、これらの取組みを、市HPや広報こまき、SNS等を利用して幅広く周知し、事業効果を高めていきたい。
			目指す方向性							
	市ホームページへのアクセス件数	件/月	実績	394,542	476,551	518,647	485,194		前年と比べ微減であるが、H27はディスプレイや住民投票により突出しているため、順調に推移していると考えられる。また、今年度はホームページのリニューアルを実施するため増加する見込みである。	ホームページのリニューアルに関しては、市民により分かりやすく、使い勝手の良いものを目指し、検討委員会等で内容を確定していく。それに伴い、広報こまきやSNS等でリニューアルについて周知を図っていく。
目指す方向性										

展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直しの内容
1 情報の共有化を促進します	広報こまきを毎号読んでいる市民の割合	%	実績	71.9	70.1	67.5	68.0	<p>単身世帯や自治会未加入者の増加により割合が減少する要因がある一方で、広報こまきのPRやスマートフォンの普及などにより、横ばいで推移している。</p>	<p>広報こまきを読むことが比較的少ない若年層に向けて、SNS(facebook、LINE等)等を利用し周知を図り、今まで紙媒体の広報紙を読まなかった方に、WEBで読んでもらえるよう働きかけていく。</p>
			目指す方向性						
2 時代に即した組織体制を整備します	組織横断的なプロジェクトチームの設置数	チーム	実績	7	11	10	10.0	<p>複数の組織にわたる問題の解決に当たって、関係部署が連携して対応する組織横断的な組織を積極的に設置・活用している。H28年度は前年度並みの設置数であった。今後も必要に応じて組織横断的なプロジェクトチームの設置を積極的に進めていく。</p>	<p>組織横断的なプロジェクトチームは、通常の組織改正に比べ、特に課題の迅速な解決に向けた機動性の面で優れていると考えられるため、今後も必要に応じて積極的に設置・活用する。</p>
			目指す方向性						
3 時代に即した人材マネジメントを推進します	常に高い意欲を持って職務に取り組んでいる職員の割合	%	実績	92.6	91.1	97.6	95.8	<p>職員アンケートの結果、実績値が1.8%下降したが、誤差の範囲内であり、引き続き高い実績値を維持する。</p>	<p>研修などを通じ、人材育成を行っていくとともに、職員が活用できる場を与えるなど仕事へのやりがいを高められるような職場づくりに努めていく。</p>
			目指す方向性						
	類似団体における職員数の順位	位	実績	35/88	32/88	30/87	10/31	<p>類似団体における職員数の順位は、職員数が少ないほど順位が上がる。平成28年度は、類似団体における職員数の分類変更があったため、平成27年度までと平成28年度を比較すると順位が大きく異なっている(平成27年度までは、「IV-1」、平成28年度は「IV-2」分類)。技能労務職の退職不補充により、職員数の減を進める。</p>	<p>引き続き、適正な職員の配置に努めていく。</p>
目指す方向性									
提案制度に基づく取組の実施件数	件	実績	4	9	11	10	<p>提案制度に基づく提案の取り組みにおいて、ここ数年継続して10件程度を維持しており、今後も同提案制度に基づく提案を実際の業務に生かしていく。</p>	<p>引き続き、有効な提案について業務に生かしていくことで、業務の効率性などを図っていく。</p>	
		目指す方向性							

展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直しの内容
4 効果的・効率的な行政運営を推進します	無駄のない市政運営が行われていると思う市民の割合	%	実績	41.5	38.2	33.9	60.8	<p>これまで行政評価を実施し、事業の見直し等を図り、より効果的・効率的な自治体経営の推進を行ってきた。なお、H28年度の指標の改善については、市の行政改革の取り組みをより市民にわかりやすく周知するために、意識調査の実施にあわせて、「広報こまき」で行政改革の取り組み内容を紹介したことが一定程度寄与したものと考えられるが、大幅な変化があったことについては、そのほかの外部要因によるものであると考えられる。H26年度からH28年度まで、世代別では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っており、この傾向は今後も継続していくものと考ええる。</p>	<p>指標の変動に関する要因分析では、特に50代を中心とした「勤労世代」が平均値を下回っている。これらの世代を中心とした「勤労世代」に対して、他の外部要因も影響しやすい市民意識調査結果に基づく指標であるものの、この意識調査結果の内容確認を通して改めて基本施策・展開方向の現状の課題を把握し必要に応じて事務事業等の見直しを図るとともに、効果の見える化など引き続き市民意識を考慮した事業実施が必要と考ええる。</p>
			目指す方向性						

経常事業	削減に関する具体的な考え方	展開方向1	広報等作成事業について、事業内容を見直し、事業費の一部金額を削減する。
		展開方向2	現状の取組を引き続きしっかりと進めていく。
		展開方向3	現状の取組を引き続きしっかりと進めていく。
		展開方向4	総合計画推進事業について、市民意識調査委託内容を精査し、事業費の一部金額を削減する。